

# 2023年10月17日掲載 輸送経済新聞

## eキャンター3台導入

第一貨物 11月下旬から順次

山形県で初のEV（電気自動車）トラック導入へ――。第一貨物（本社・山形市、米田総一郎社長）は11月下旬から12月上旬にかけて、小型EVトラック「eキャンター」の新型モデルを計3台導入する。カーボンニュートラル（炭素中立）に向けた取り組みの一環で、二酸化炭素の排出削減につなげる。

導入するのは三菱ふそうトラック・バスの新型eキャンター。総重量は6・7ト。最大積載量は2・3ト。航続距離は236キロ。普通充電なら16時間で満充電となる。

山形支店（山形市）、東京支店（東京）、門真支店（大阪府門真市）の各支店で1台ずつ、太平洋興業を通じて導入し、食品、工業品などの企業向け配送業務で活用する。

山形県内でのEVトラック



車両デザインのイメージ

ク導入は初といい、12月上旬には山形支店で記念式典も行う。

耐え得ると判断。導入を

（矢田 健一郎）

eキャンターは2017年に発売されたが、第一貨物では航続距離の問題からこれまで導入を見送ってきた経緯がある。23年3月発売の新型モデルでは航続距離が改善されたことで、実際の運用に